



今月の主な目次

- 北海道酪農の進路—需要に対応して—
- 乳牛飼養管理のポイント
- 雪印種苗育成“牧草新品種”の特性紹介

- 事業部からの新年のご挨拶
道東・道央事業部

ごあいさつ



平成16年の新春を迎え、皆様のご健勝と、ますますのご繁栄をご祈念申し上げ、併せて、相変わりがせぬご愛顧・お引き立てを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

わが国経済も、ようやく底を打った感がありますが、雇用環境面では、いまだに厳しい状況が続き、株価の面でも、一層の堅調な足取りが期待されています。

農業においては、夏期間の低温が災いし、稲作は10年来の不作となりました。一方、秋から年末にかけては好天が続き、野菜出荷量が増大し、産地では値崩れが起きるなど、気象にまつわる様相は悲喜こもももで、ご苦労の多い一年でした。

畜産では、若齢でのBSE牛も発見され、原因の究明が急がれますが、幸い、世界一の精度での食肉検査が機能しており、消費への悪影響は抑えられました。

新しい年を迎え、食料自給率向上を睨んだ生産活動の推進、環境と調和した農業の展開、農村の活性化につながる諸施策の徹底など多くの課題を抱えており、いずれも消費・流通・加工サイドとの連携が必要です。

また、WTO、FTAなど多国間、二国間での自由貿易枠組み交渉についても、注視していく必要があります。

雪印種苗は、低コスト生産を可能とする優良野菜種苗の開発、自給率向上につながり、環境条件に適した飼料作物の多種(多品種)販売、植物・微生物の機能を活用した病虫害の抑制や成長促進資材の販売、更には、乳肉牛用各種配合飼料の製造販売、未利用資源や副産物を活用したTMウエット飼料の製造販売、生活に潤いを与える花卉・ガーデニング資材の販売、大型緑化工事の設計受注など、酪農園芸における、生産から生活まで、幅広い分野でご利用いただける、多くの商品を取り揃え、ご用命をお待ち致しております。

本年も相変わりがせぬご愛顧と、お引き立てを賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成16年 元旦

雪印種苗株式会社

代表取締役社長 城座 勝明